



かごしま

2013年(平成25年)

第553号

市民のひろば

6月号

市役所への問い合わせは
鹿児島市総合案内コールセンター
サンサンコールかごしま
はれはさんさんサンサンコール
TEL 099-808-3333
FAX 099-808-2525 年中無休 8時~21時
info@33call.jp

編集と発行 鹿児島市広報課 ☎099-216-1133 FAX099-216-1134 ✉kouhou@city.kagoshima.lg.jp
◇点字版・音声(テープ・CD)版を希望する人は広報課へ ◇配布の問い合わせは南日本リビング新聞社239-8124へ

【主な内容】

- 特集 **桜島大正噴火100周年事業~ I A V C E | 2013開催** ⑧・⑨
- 市政総合……………②~④
 - イベント・講座……………⑤~⑦
 - 暮らしのガイド……………⑩・⑪
 - 健康・福祉……………⑫・⑬
 - すこやか鹿児島っ子……………⑭・⑮

人口(平成25年5月1日現在・推計)
※()は前月比
人口総数 607,391人 (+1,508)
世帯数 270,606世帯(+1,577)

市ホームページ
鹿児島市 検索
http://www.city.kagoshima.lg.jp/
広報紙「かごしま市民のひろば」を閲覧に
グラフ誌「市民フォト鹿児島」を眺む 楽しめます
※上記のページからは電子ブックでも広報紙をご覧になれます
携帯サイト「鹿児島シティガイド」
右の二次元コードからアクセスできます

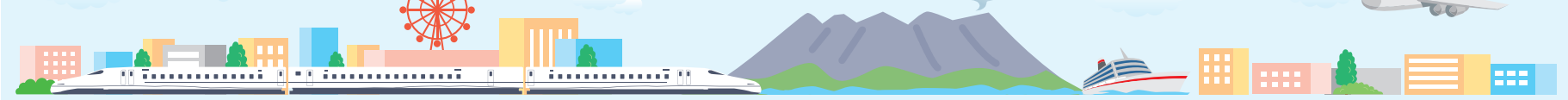



「薩摩観光維新隊」は、2018(平成30)年に明治維新から150年の節目を迎える機会を捉え、発足しました。鹿児島市ゆかりの偉人である、西郷隆盛、篤姫、大久保利通に扮して薩摩の歴史や本市の多彩な魅力を全国にアピールします。

かごしま市の魅力をPR~『薩摩観光維新隊』活動開始!

人・まち・みどり



みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま



■「山の子みや子」を読んで
日本を代表する児童文学者椋鳩十先生の顕彰と、児童文学の発展に寄与することを目的に、本市が平成2年に創設した椋鳩十児童文学賞。今年度は90歳の新人作家石井和代さんの作品「山の子みや子」が受賞しました。
受賞作は、山地酪農を営む家族が、厳しい自然環境と不慣れた暮らしの中で、病気の牛を懸命に家族で看病する姿や、初めて灯る電気の明かりに胸を躍らせる場面などが生き生きと描かれており、家族の絆や生きるといふこと、真の豊かさについて、あらためて見つめ直させられるすばらしい物語です。
石井さんと話をする中で、常に前向きに著作活動に取り組んでおられる姿勢にパワーをいただくとともに、年齢を問わず目標を持って努力していくことの大切さを感じました。
4人の選考委員全てが支持したこの力作を、是非、多くの皆さんに読んでいただきたいと思っています。

■「西之谷ダム」の完成
今年度は、未曾有の大災害となった平成25年の8・6豪雨災害から20年目を迎え、本市ではこの節目に「防災シンポジウム」をはじめ、さまざまな関連イベントを実施します。
梅雨の季節となりましたが、市民の皆さんには、今後とも防災意識を高め、災害時に対する万全の備えをとっていただきたいと思います。
さて、市内を流れる新川上流の西別府町に、「西之谷ダム」が先月完成しました。新川は、これまで台風や集中豪雨により河川の氾濫などを繰り返し、たびたび流域の皆さんに深刻な被害をもたらしてきました。このような浸水被害を防止するため、県の事業として、河川改修と併せて、大雨の時のみだけ流れを調節する機能を持つ、治水ダムの建設が進められてきました。
地元の皆さんの温かいご理解とご協力のもと、調査開始から約40年という歳月を経て完成の日を迎えられたことは、感慨一入です。本市にとって、今後このダムがその機能を発揮して、災害に強いまちづくりに貢献していくことを期待しています。

市民とともに
鹿児島市長
森博幸

(大切なものは保存しておきましょう)